

西東京市市民協働推進センター事業 令和5年度事業実績報告書（西東京市からの受託事業）

1. 西東京市市民協働推進センター（以下、センターという）は、平成21年の設立から13年。第4期である今期は「個」の支援や教育機関との協働において強みを持つ西東京ボランティア・市民活動センターと情報共有等を通じた連携のもと、「あつまる」「つながる」「ささえる」を理念に事業展開を実施します。企業等との協働を通じて地域共生社会実現を目指したセンター運営を継続します。
2. センターは中間支援組織として、市民活動団体の自立・継続に向けてきめ細やかな情報提供、アドバイス、コーディネーターなどのサポートを強化、社会情勢に迅速に対応しながら協働を推進していきます。

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
広報・PR事業	地域連携の促進やセンターの広報・PRの充実を図るために、各種情報媒体を積極的に活用しながら、「活動者が得たいと思う情報」を広く周知していきます。ホームページの機能充実にむけた検討を行います。	<p>① センターの情報発信及び情報の更新、周知活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○センターのホームページやSNS等を利用した広報・PR活動 ○ホームページ、SNSでの情報提供 <p>○各種媒体により、センターの役割や機能、活動内容を広報・PR</p> <p>○機関紙「ゆめこらぼ通信」の発行 機関紙の発行(6・9・12・3月号、各号1000部発行)</p> <p>○団体紹介冊子の発行・配架</p> <p>② 他団体・組織イベントでの連携</p> <p>○広報・PRに協力してくれる団体・企業・施設を拡大・確保</p> <p>○市内全ての小中学校へ団体紹介冊子の配架・地域学校協働活動等での活用促進</p>	<p>① センターの情報発信及び情報の更新、周知活動</p> <p>センターのイベントをSNSで発信する回数を増やし、広報・PRに務めた。</p> <p>機関紙において、NPO等企画提案事業で採択された事業をシリーズで掲載し、市と協働することで広がりがある活動を紹介したことで市民活動への啓発となった。</p> <p>② 他団体・組織イベントでの連携</p> <p>徳洲会病院の地域連携室とのつながりができたことにより、お互いの広報に協力することとなった。NPO市民フェスティバルの広報活動として自動車教習所、お店、近隣小学校やURなど従来あまり関わることがなかった場所に積極的にチラシ配布やポスターの掲示を依頼し、イベントの広報活動を行うと共にゆめこらぼの存在と活動を認知してもらうように努めた。またNフェスに企業から飲食類の提供も受けることができた。</p> <p>市内小中学校へ団体紹介冊子を配架したことにより、田無第一中学校「西東京市の現状と課題について知る会」の講師として、市役所と公民館と共に、順次1年生6クラスを回り、ゆめこらぼの役割や西東京市の市民活動団体の現状などを解説した。今後の探求課題学習を進めるための一助となった。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p>情報収集・提供事業</p>	<p>現在活動している市民活動団体の情報及び市民活動に関連する情報を迅速に集約・発信し、市民活動に関する市民の理解や認知度の向上、市民参加の促進を図ります。</p> <p>○市民活動団体の情報収集・提供 ○市民活動の情報収集・提供</p>	<p>① 市民活動団体の情報収集・提供</p> <p>○機関紙「ゆめこらぼ通信」で情報提供(年4回) 団体の活動紹介(8団体)</p> <p>○地域密着型メディア各社との連携</p> <p>○ホームページ、SNSで情報を発信(団体のイベント情報、パンフレット、機関紙)</p> <p>○イベント情報の発信(毎月)</p> <p>○団体紹介冊子の発行(2月) 市民フェスティバルに合わせて団体紹介冊子を1000部発行</p> <p>② 市民活動の情報収集・提供</p> <p>○社会情勢に迅速に対応した支援情報を収集、ホームページ等での情報提供</p> <p>○近隣8市との情報連絡会や日本NPOセンター主催のCEO会議等に参加し、情報収集・提供 日本NPOセンター総会(6/16 リアル&Zoom) CEO会議(1/29-30 仏教伝道協会) 近隣8市情報連絡会(7/14町田市、2/7府中市)</p>	<p>① 市民活動団体の情報収集・提供</p> <p>ホームページのアクセス数は18,767件 NPO市民フェスティバル開催告知を地域密着型メディアと連携したことにより、FM西東京などの情報番組や紙面で発信した。</p> <p>② 市民活動の情報・提供</p> <p>助成金情報等をホームページに掲載(112件) 助成金情報など積極的に掲載することで、登録団体から助成金についての問合せなどの反応がある。</p> <p>近隣8市連絡協議会※では各市が活動で悩んでいる事や資金(資源)支援や補助金の仕組み等の情報を共有することで、ゆめこらぼが抱えている問題解決のヒントとなる意見をもらえた。また、コロナ禍があけて、各市の新たな取り組みなどを共有した。 日本NPOセンター主催の会議などに出席することで、被災者支援制度の問題点を含め、被災地の情報を得た。 ※ 小平市、八王子市、日野市、府中市、三鷹市、調布市、町田市と西東京市の8市の中間支援組織が自発的に集まって情報交換、意見交換を行っている。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
相談事業	<p>多様な主体(市民、NPO等市民活動団体、企業、行政職員、教育機関等)がよりよい形でパートナーとなり協働を推進するため、また、各団体が自立的でかつ継続的に活動ができるよう、市民活動を支えるセンターとしての役割を担います。</p> <p>西東京ボランティア・市民活動センターと連携し、相談業務の充実を図ります。</p> <p>○相談業務</p>	<p>① 相談業務</p> <p>○市民活動に関する一般的な相談センター職員により相談対応する相談件数59件</p>	<p>① 相談業務</p> <p>市内老人ホームから屋上緑化を地域で活用してもらいたいと相談があり、ニーズに合った市民活動団体へつなげたことにより問題解決と地域貢献の一助となった。</p>
人材、 【重点事業】 団体育成・研修事業	<p>市民参加を促す意識啓発、市民活動に必要な知識を習得する研修を行い、第四期が終了する時には誰も取り残さない「皆で支え合う地域共生社会」実現のために事業を展開します。</p> <p>事業を通じて人材、団体育成の更なる推進を図ります。</p> <p>○NPOパワーアップ講座の開催(年1回)</p> <p>○サロンDEこらぼの開催(通年)</p>	<p>① NPOパワーアップ講座の開催</p> <p>○NPO等市民活動団体の育成・組織基盤強化等の講座を開催 「わかる！団体の継承と活動の活性化」を開催(9/2) 参加者24名</p> <p>② サロンDEこらぼ</p> <p>○ゆめこらぼのサロンスペースを利用した「市民活動の紹介等」市民活動への理解と普及啓発を図る</p>	<p>① NPOパワーアップ講座の開催</p> <p>NPO法人フュージョン長池の田所理事長を講師に迎え、講師の経験から団体の世代交代や活性化の講義、講演後、質疑応答と意見交換会を行い好評のうちに終了した。</p> <p>② サロンDEこらぼ</p> <p>図書館のリファレンスサービスの利用を継続し、テーマに沿った情報など発信している。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
地域連携促進事業	<p>地域課題を解消するために市民活動団体、地縁団体、企業、教育機関、行政等が相互に交流、連携、協働するため、コーディネート機能を有効に発揮し、地域連携の更なる促進を進めます。</p> <p>○団体交流会 ○NPO市民フェスティバル ○多者協働のまちづくり</p>	<p>① 団体交流会</p> <p>○団体の交流会を開催 (2/10(21団体・21名))</p> <p>② NPO市民フェスティバル</p> <p>○実行委員会を開催(全8回) (7/13、8/10、9/14、10/12、11/9、12/14、1/11、2/8、3/14)</p> <p>○参加団体説明会を開催(Zoom) (11/4(参加18団体))</p> <p>③ 多者協働のまちづくり</p> <p>○多者協働のまちづくりを開催 「知ることはじめよう！ヤングケアラーの実情」 (12/14)参加30名</p>	<p>① 団体交流会</p> <p>NPO市民フェスティバル終了後まちライブラリーを会場に団体交流会を開催し、協力企業から飲み物などの差し入れがあった。</p> <p>② NPO市民フェスティバル</p> <p>NPO市民フェスティバルは展示と体験イベントで会場2ヶ所でリアル開催。実行委員を中心に新しい施設MUFUパーク、まちライブラリーを利用し、かわぐちかいじ氏の講演会には54名の参加し、ワークショップ・模擬店・キッチンカーなど、合計で2,000名程の来場数があった。</p> <p>③ 多者協働のまちづくり</p> <p>ヤングケアラーをテーマに社会的背景を含めこれからの支援など講演とワークショップを開催。行政、民生委員、市民など様々な分野から参加があり、認知やきずきを重視した事業となった。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
地域連携促進事業	<p>地域課題を解消するために市民活動団体、地縁団体、企業、教育機関、行政等が相互に交流、連携、協働するため、コーディネート機能を有効に発揮し、地域連携の更なる促進を進めます。</p> <p>○地域コミュニティ施策への協力 ○教育現場とNPO等市民活動等との連携</p>	<p>④ 地域協力ネットワークの連携強化</p> <p>○南部地域協力ネットワーク ○西部地域協力ネットワーク ○中部地域協力ネットワーク ○北東部地域協力ネットワーク</p> <p>⑤ 社会教育委員会及び研修への参加</p> <p>○社会教育委員会(全12回) (4/28、5/26、6/23、7/28、8/25、9/22、10/27、11/24、12/22、1/26、2/16、3/29) ○地域学校協働活動等での活用促進</p>	<p>④ 地域協力ネットワークの連携強化</p> <p>4圏域の各地域協力ネットワーク定例会やイベントに参加し、情報を発信、共有した。 防災に関する啓発を続けてきたことで4圏域の防災に対する意識は高い。</p> <p>設立記念イベント“ほくっとまつり”を開催</p> <p>⑤ 社会教育委員会及び研修への参加</p> <p>令和7年6月に市に提出する提言について協議し検討を順次進めている。また同時に新規の生涯学習推進指針についての協議も行っている。</p>
施設の提供及びその他事業	<p>市民活動を文えるために、利用しやすいサロンスペースや機材の提供を行います。また、サロンスペースにて、団体のオンライン活用に向けた機会提供を検討、試行します。</p> <p>感染症対策を含む社会状況を鑑み、安心して利用できる環境、機会を提供します。</p> <p>○センター来訪者 ○サロンスペースの提供 ○機材の貸出・提供 ○登録団体に対し、メールボックスの提供 ○その他の事業</p>	<p>① 施設・機材の貸出・提供</p> <p>○登録団体：195団体 ○サロンスペースの提供 (来訪団体数：1,045団体、来訪者数：2,040名、サロンスペース：715名) ○機材の貸出・提供 412件 (コピー機：16件、印刷機：183件、紙折り機・裁断機：85件、ラミネーター：80件、AV機材：48件) ○登録団体に対し、メールボックスの提供(104個)</p>	<p>① 施設・機材の貸出・提供</p> <p>フリーWi-Fiがあることで、サロンスペースの利用者がオンライン(Zoom)での打合せなどに活用することができるようになり、活動の支援につながっている。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
運営及び維持管理	市民の声を反映するため運営委員会を設置する。 事業充実にむけ、研修によるスタッフの資質向上を図る。 運営における維持管理を行う。 第三者評価の実施 ○運営委員会の開催 ○研修会への参加 ○運営における維持管理 ○第三者評価	① 運営委員会の開催 (4/17(7名)、5/15(8名)、7/18(7名)、10/16(7名)、12/18(8名)、2/19(8名)、3/18(8名)) ② 研修会への参加 (5/15、5/24、8/28、10/6、10/20、12/2、2/24) ③ 運営における維持管理(常時) ○設備・機材の維持管理 ④ 第三者評価委員会開催 ○第四期の第三者評価の進め方(10/25、12/6)	① 運営委員会の開催 運営委員会から積み上げてきたゆめこらぼの強みや財産を積極的に発信するよう提案や意見を聞くことが出来たので、前向きに反映させていく。 ② 研修会への参加 参加したい研修会が見つからず、件数は少ないがセンター内で研鑽している。 ③ 運営における維持管理(常時) 支障なく運営及び維持管理が行われている。 ④ 第三者評価委員会開催 第三者評価の評価シートは重複部分を無くし、シンプルでわかりやすくリニューアルした。